



いのちの日便り

『いのちの日』を振り返る

3月2日（金）、今年度最後の『いのちの日』に1年間の様々な活動を振り返りました。来年度も、生徒のみなさん一人一人の『いのち』が輝くように、『一中いのちの日』を推進してまいります。



～ 生徒のみなさんの感想より ～

今年の目標は「いのちの大切さを考えながら生活する」でした。『いのちの日』は合計で11回ありましたが、私がとても心に残ったのは創立記念式の時の和田さんのお話です。震災や病気で死にたくなかったのに、死んでしまった人がたくさんいることを聞き、私は今、元気に生きていられるのだから、そのことを嬉しく思い、これからは精一杯生きていこうという気持ちになりました。1年間、いのちの日を終えて縦系も横系もどちらも「いのち」があるからこそ成り立っているだと実感できました。

（1年4組 栗田 涼香さん）

1年を通して、「いのちの重さや大切さ」、「たくさんの人とのつながり」、「今自分がここにいれるのは、たくさんの人から支えがあったからであり、自分だけの力ではないということ」など、『いのちの日』からたくさんを学びました。学んだことを2年生へ、そして3年生へとつないでいき、色々なことが織り合せてできる「いのち」を大切にしていきたいです。

（1年4組 町田 遥香さん）



いろんな『いのちの日』の活動を通して、一つ一つの活動がつながって今があるんだと感じました。2年生になっても、『いのちの日』をしっかりと取り組んでいきたいです。

（1年5組 伊藤 梢也さん）

1年間、『いのちの日』で色々なことに取り組んできて、読み語りをしてもらうことでいのちの大切さを知って、奉仕活動をすることで、学校への感謝が伝えられたと思います。2年生になってからは、後輩の手本になって生活できるようにしたいです。

（1年5組 花輪 悠麻さん）

この一年間は、自分にとって大切1年でした。3年生にむけて、今まで以上にがんばっていきたいです。そして14年間安全に過ごせたのは、家族やたくさんの人々が自分を支えてくれたからだからだと思います。これから3年生になる僕は、もっと命を大切に生きていきたいと思います。
(2年4組 吉岡 賢人さん)

1年間の『いのちの日』の中で私は、人は人と支え合って生きているということがわかりました。これからも1年間で学んだことを忘れず、生活していきたいと思います。
(2年4組 熊坂 藍音さん)



『一中のいのちの日』を通して、いのちや人と関わりがすごく大事だと感じました。いのちは、自分のものだけではなく、いろんな人に支えられてきて育ったものだとなりました。これからの生活でも、いのちとの関わりを大事にして生活していきたいと思います。

(2年5組 小関 結太さん)



3年間『いのちの日』について学び、今の私たちは周りの方々に支えられて生きているのだと深く思いました。1ヶ月に1度、いのちについて考える活動があることで、自分が知らなかったことを新たに学びました。これからも「いのち」を深く考え、大切にしていこうと思います。
(3年4組 熊田 優瞳さん)

自分の過去をふり返ったり、将来のことを考えたりすることなどを通して、今の自分がどうあるべきかで、何をすべきなのかを十分に考えることができました。また、人とのつながりや、協力するためには、思いやりの気持ちを持つことが大切だと実感しました。平和な世の中に貢献できる人になるために、『いのちの日』に学んだことを忘れず、高校生になっても生活していきたいと思います。
(3年4組 渡部 なつきさん)



人の生き方や特技のを見つけ方を学んだり、高校に進んだ時、あるいは社会に出たときに、大切なことばかりを覚えてもらったと思います。そして、すべての話に共通していることは「時間」という言葉です。



少しの時間も大切に生きていくことで、考え方が変わったり、自然を思いやったり、少し気持ちを伝えてみたりできるとわかりました。これから高校に行っても、この貴重な経験を忘れずに、そしてめげずに頑張ろうと思います。

(3年5組 菊地 太陽さん)

